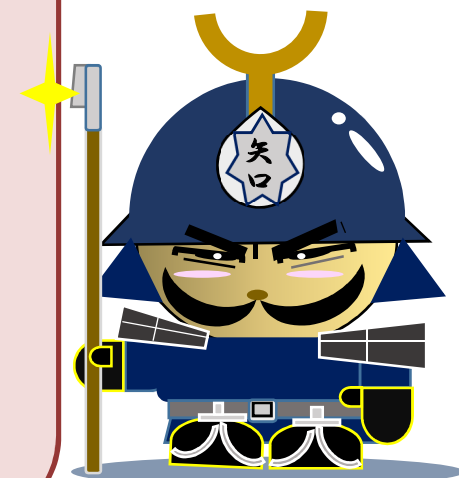


矢口消防署からのお知らせ（8・9月号）

～防災の日・救急の日を見つめ直そう～

毎年9月1日は「防災の日」、9月9日は「救急の日」です！

- 令和5年度東京消防庁火災予防標語 **目で確認 声出し確認 火の用心**
作者 いわさき 岩崎 くるみ 公瑠美 さん（清瀬市在学）
- 令和5年度東京消防庁防災標語 **参加しよう もしものための 防災訓練**
作者 こたけ 小竹 りょうすけ 亮輔 さん（台東区在学）
- 令和5年度東京消防庁救急標語 **まず行動 救える命 あなたから**
作者 おかもと 岡本 じゅんいち 純一 さん（府中市在勤）



改良型矢口火消丸（渋顔ヤッピー）

◆防災の日と救急の日がなぜ定められたかご存じですか？



- 大正12年9月1日、関東大震災が発生し、死者・行方不明者105,385名の未曾有の被害をもたらしました。また、9月は台風の多い時季でもあることから、一人一人が災害について認識を深め、災害への備えを強化することを目的に、毎年9月1日を「防災の日」、8月30日から9月5日を「防災週間」として決めました。今年は、関東大震災発生から100年の節目となります。ぜひこの機会に、ご家庭や職場・地域で防災について考えていただくとともに、防火防災訓練に参加し、消火器の使用方の習得など、防災行動力を高めましょう。
- 救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的に、毎年9月9日を「救急の日」、9月9日救急の日を含む1週間を「救急医療週間」と定め、各地で様々な取組みが実施されています。ちなみに、語呂合わせで覚えやすい！ということから、9月9日（キューキュー）が選ばれました。

救急出動件数に目を向けると、年々増加の一途をたどっていて、令和4年中の東京消防庁の出場件数は872,075件で、救急業務開始以来、過去最多を記録しました。さらに本年は、過去最多を記録した前年を上回るペースで救急出場件数が増加しており、救急車の適正利用が求められています。



救急車ひっ迫アラート

東京消防庁では、救急車の要請が増加し、救急出場がひっ迫した場合に、「救急車ひっ迫アラート」を発表し、救急車の適時適切な利用を強く呼びかけております。

今まさに命の危機に瀕しているご家族やご友人が目の前にいるのに、「呼んだはずの救急車がなかなか来てくれない」といった異常事態が発生しています。最近では、大田区の救急要請場所に渋谷区や目黒区にある消防署の救急隊が出場してくることが非常に多くなっています。近くの救急車が全て出場しているためです。

救急搬送された方々の約53%が、入院を必要としない軽症と診断されています。

本当に救急車を必要としている方のため、救える命を救うため、どうか皆様、救急車の適時・適切な利用へのご協力をお願いします！もし、救急車を呼ぶかどうか迷った場合は、「#7119」に相談してください。

第72回はたらく消防の写生会作品展のお知らせ

- 実施期間 令和5年8月10日(木)から8月20日(日) 10時00分から21時00分
※日曜・祝日は20時30分まで
- 実施会場 グラデュオ蒲田3階東西連絡通路(大田区西蒲田7-68-1)



小、中学校のたくさん生徒さん達が一生懸命描いてくれた作品をぜひ一度、見にきてくださいね！



【お問合せ先】 矢口消防署 03-3758-0119 下丸子出張所 03-3759-0119
西蒲田出張所 03-3737-0119 西六郷出張所 03-3739-0119